



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA**  
 CHARTERED 1986.4.7

2025  
 3  
 No.463

第1例会: 毎月第2木曜日18:30~ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30~ 会場: YMCA東山荘 TEL: 0550-83-1133/FAX: 0550-83-1138  
 〒412-0024静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>  
 OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 杉山 博恵 副会長: 杉山 将己 書記: 小野麻利子 会計: 山本 光子 監事: 杉山 将己



国際会長主題” Together for a Better World” 「より良い世界のために、共に」  
 アジア地域会長主題” Be the light for change” 「変革のための光となろう」  
 東日本区理事主題 「ワイズの方向を見極める」  
 富士山部部長主題 「たゆたえども沈まず」  
 御殿場クラブ会長主題 「活発な奉仕活動によりワイズの理念を広めよう」  
 御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。



**2025年3月度例会プログラム**

司会 内海昭美Y,s

1. 開会の言葉 司会
2. 開会点鐘 杉山博恵会長
3. ワイズソング 一同
4. ワイズの信条 一同
5. 聖句について 森田義彦Y,s
6. 会長挨拶 杉山博恵会長
7. ゲストビジター紹介 杉山博恵会長
8. 食前感謝 小野麻利子Y,s
9. 卓話 (株) 虎玄 笹子様
10. 誕生日・結婚祝い 各自
11. スマイル・YMCA基金報告 山本光子Y,s
12. 閉会の言葉 司会
13. 閉会点鐘 杉山博恵会長

《今月の聖句》  
 マタイによる福音書 4章4節  
 「人はパンだけで生きるものではない。  
 神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

《聖書の意味》  
 食べ物、財産、名誉、人にとって大切な物です。  
 しかしそれらだけで人は支えられているのでしょうか。  
 人にとって大切な精神、心、それを支えるのは  
 何でしょうか？  
 “武士は食わねど高楊枝”とは良く言ったものです。  
 私たちを支えているのは一体どのような言葉ですか？



【BFだより】

- ・ビールやジュースを飲んだら  
 プルタブを外しましょう！
- ・手紙が来たら切手を切り取りましょう！



**3月お誕生日 おめでとうございます！**

18日 岩田 睦 パートナー  
 21日 山本康夫 パートナー



**3月結婚記念日の方 おめでとうございます！**

【2月例会報告】

在籍数	14名	メネット	0名	スマイル報告	0
出席者	9名	コメント	0名	スマイル累計	1,098,140
メーキャップ	名	ゲスト	0名	YMCA基金	0
出席率	64%	ビジター	0名	YMCA累計	243,050
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	9名		

## 2月例会報告

前原 末子

2月6日(木) 18:00～ 東山荘大ホールにて、BF代表歓迎会と例会を兼ねて行いました。  
長谷川Y,sの司会で始まり、インドからのお客様の紹介がありました。 相磯富士山部長の開会点鐘

### ◆歓迎の言葉

相磯富士山部長が富士山部の紹介と、富士五湖クラブの方々も富士山部と思っています。

本日は、富士山部の皆様・富士五湖クラブの皆様、約40名お集まりいただいた事に感謝しております。

### ◆御殿場会長、杉山博恵Y,s挨拶では、インドからのお客様に、御殿場の印象はいかがですか？の質問に、寒いとおっしゃっておいりました。浮世絵のような富士山を楽しんでいただきたいと思っております。

### ◆BF代表挨拶

東山荘に来てとても嬉しいこと。日本の全てが規則正しくて、景色も綺麗でした。成田や千葉でもとても良くしていただき、食べ物も寿司・和食そして酒もとても美味しかったです。パートナーはベジタリアンだそうです。

これから新幹線に乗りますので、楽しみだそうです。8月のアジア大会も楽しみにしているとの事。

インドのワイズ活動も説明されました。毎月家族の集まりがあり、6月から4月まで、スポーツ・文化・フォークダンス・毎月ミーティングなど活動している。癌センターのケアもしているとのこと。

### ◆食前の祈り

東山荘所長 森田Y,sからは、今世界では食事出来ない人たちが沢山おられます。美味しい食事ができる事に感謝します。

### ◆アトラクション

富士五湖クラブの尾崎夫妻のコンサートが楽しめました。

熱海グローリー綾野会長パートナーの日本舞踊は、BF代表夫妻も感激していたようです。

プレゼント交換は、各クラブの皆様からご夫妻に。ご夫妻から皆様にと、気遣いに感謝です。



司会・長谷川Y,s



富士山部長・相磯Y,s



御殿場会長・杉山Y,s



BF代表・ヴェンカティッシュ氏



食前の祈り・森田Y,s



美味しそうなビュッフェ



尾崎夫妻のコンサート



綾野Y,sの奥様・浦島太郎を舞う



プレゼント交換



閉会挨拶・勝又Y,s



みんなで「はいポーズ」

## 終戦80年を顧みて

杉山 将己

昭和20年8月に終戦と成った次第ですが、この時自分は5歳でした。

当時の日本国は昭和12年頃から、資源確保を求めて中国やインドシナ方面へと進出をして行きました。それに伴い昭和16年8月にアメリカからの石油輸出禁止が行われ、この後困り果てた後に、木炭自動車を作り走っているのをよく観て覚えています。

米国軍と戦えば負ける事は承知の上で、資源確保の為に12月8日にハワイ真珠湾への攻撃となり、第2次世界大戦へと入ってしまいました。

自分が良く記憶しているのは、当時 御殿場・小山の御厨地域の上空は、日々米国のB29戦闘爆撃機が飛行雲を作りながら飛来していました。何故ならば、富士山を目指して飛来し、そこから各方面へと爆撃に向かって行ったようでした。

当時各戸では表庭に防空壕を作っていました。我が家の防空壕は畑に深い穴を掘り、青竹で屋根を作り、その上にワラムシロを敷き、更に土を被せたもので、身を隠す程度の物で、機銃掃射を受ければ弾は入ってしまうであろうと思われる物でした。自分は幼少でしたので、飛行機を見たくて空を眺めていると祖父に早く防空壕の中に入れと言われ、叱りを受けたものでした。

隣の長田家で、長男が海軍に入り戦艦武蔵の戦闘員と成りましたが、沈没されると共に戦死し、その葬儀が行われ出棺のときに、上空を米軍機が飛来して来て私は物珍しく眺めていると、早く隠れろ！と手を引かれ木陰へと連れて行かれました。

この米軍機は何処かで機銃掃射を受けたのか、箱根山の丸岳の中腹に落ちて行ったのを見ました。この頃それぞれの地区で、家を守る女性群が広場に集まり、朝鮮人が籠坂峠を越えて攻めて来るとの噂を元に青竹で槍を作り『エイ・ヤー』との掛け声をかけ訓練をしていたものでした。広島・長崎に原爆が投下され、更に日本中が焼け野原となってしまう、得た物は何一つ無く終戦と成った訳です。

日中戦争で18万人・第2次世界大戦で310万人の国民が失われたと言われています。

この様な争いは二度としてはならない事を願うものです。

現在も、【ロシア対ウクライナ】【イスラエル対ハマス】などの争いが行われていますが、世界のそれぞれの人々は、欲を捨て互いに助け合って行きたいものです。

《人類の全ての平和を懇願し》

## 「体験格差」より思う事

若林 久美子

今井悠介さんの「体験格差」という本が大変売れているそうです。内容を抜粋して紹介します。

「習い事や家族旅行は贅沢？ 子どもたちから何が奪われているのか？ この社会で連鎖する「もうひとつの困窮」の実態とは？ 日本初の全国調査が明かす「体験ゼロ」の衝撃！

- 低所得家庭の子どもの約3人に1人が「体験ゼロ」
- 小4までは「学習」より「体験」
- 体験は贅沢品か？ 必需品か？
- 「サッカーがしたい」「うちは無理だよね」
- なぜ体験をあきらめなければいけないのか？
- 人気の水泳と音楽で生じる格差
- 近所のお祭りにすら格差がある
- 障害児や外国ルーツを持つ家庭が直面する壁
- 子どもは親の苦しみを想像する
- 体験は想像力と選択肢の幅を広げる



昨年夏、あるシングルマザーから、こんなお話を聞いた。息子が突然正座になって、泣きながら「サッカーがしたいです」と言ったんです。それは、小学生の一人息子が、幼いなりに自分の家庭の状況を理解し、ようやく口にできた願いだった。たった一人で悩んだ末、正座して、涙を流しながら、私が本書で考えたい「体験格差」というテーマが、この場面に凝縮しているように思える。（中略） 私たちが暮らす日本社会には様々なスポーツや文化的な活動、休日の旅行や楽しいアクティビティなど、こどもの成長に大きな影響を与え得る多種多様な「体験」を、「したいと思えば自由にできる（させてもらえる）子どもたち」と、「したいと思ってもできない（させてもらえない）子どもたち」がいる。そこには明らかに大きな「格差」がある。その格差は、直接的には「生まれ」に、特に親の経済的な状況に関係している。年齢を重ねるにつれ、大人に近づくにつれ、低所得家庭の子どもたちは、してみたいと思ったこと、やってみたいと思ったことを、そのまままっすぐには言えなくなっていく。私たちは、数多くの子どもたちが直面してきたこうした「体験」の格差について、どれほど真剣に考えてきただろうか。「サッカーがしたいです」と声をしぼり出す子どもたちの姿を、どれくらい想像し、理解し、対策を考え、実行してきただろうか。」……………「はじめに」より

私たちワイズメンズの活動の意味が大きく関係する話だと思いました。直接、スキー教室やサッカー大会、ドッジボール大会、キャンプなど私たちができなくても、富士山部にはたくさんの活動をしているワイズメンズクラブがあります。なんとといっても東山荘の活動に協力できるだけで少しでもこの格差を減らすお手伝い出来ます。

やっぱりワイズメンズの活動って素晴らしいんだと改めて感じて、成功しないダイエットの本や美容の本ばかり読んでいないで、この本を読もうと思って買いました。届いたらさっそく読みます。